



2023年2月15日

住友商事株式会社

第60回無担保社債(第1回グリーンボンド)レポーティングについて

1. 資金充当状況

2022年5月24日に発行した住友商事株式会社第60回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(第1回グリーンボンド)による調達資金の適格プロジェクトへの充当状況は以下の通りです。

(単位: 億円)

事業区分	金額
再生可能エネルギー	52
森林事業	51
鉄道関連事業	82
5G関連投資	15
計	200

※調達資金の全額につき、上記適格プロジェクトへの充当を完了しております。

※再生可能エネルギー: 欧州洋上風力発電や国内陸上風力発電、東南アジアにおける地熱発電

※森林事業: 当社100パーセント子会社 Summit Forests New Zealand Ltd を通じた FSC (Forest Stewardship Council®、森林管理協議会) 認証を取得している森林の取得

※鉄道関連事業: 東南アジアにおける都市旅客鉄道の運営・保守

※5G関連投資: 携帯事業者に対する5Gを中心とした基地局シェアリングサービス提供を行う事業会社 (Sharing Design(株)) への投資

2. インパクトレポーティング(環境改善効果) (2022年12月末時点)

環境改善効果に関連する各種指標の状況は以下の通りです。

事業区分	発電容量	年間CO2排出削減相当量
再生可能エネルギー	475MW	427,744t

事業区分	取得した森林面積
森林事業	8,405ha

事業区分	駅数	路線距離
鉄道関連事業	20駅	約20km

事業区分
5G 関連投資

(5G 関連投資 事例紹介)

「基地局シェアリング事業」では、2021年2月に東急㈱と設立した Sharing Design㈱を通して、携帯通信事業者向けに 5G を中心とした基地局シェアリングサービスを提供しています。2022年5月の渋谷周辺エリアをはじめ、新橋・新宿等既に複数エリアでサービス開始しており、早期の全国展開を目指しています。

5G は 1 基地局あたりのカバーエリアは 4G と比べて狭く、多くの基地局を必要とするため、携帯通信事業者の設備投資負担増や都心部における用地不足が課題となっています。基地局シェアリングはこの課題を解決するソリューションであり、当社は、基地局シェアリングの拡大を通して 5G 社会の早期実現と、基地局敷設の削減による環境負荷軽減を目指していきます。

以上